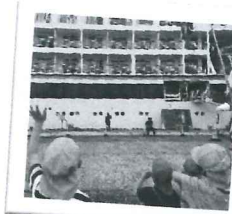


7月の園だより

回覧

令和8年6月30日(火) 羽茂こども園
副園長 吉田 歩



気温は上がり、夏がすぐそこまでやってきているようですが、草花や野菜たちにとっては恵の雨となる最近の空模様です。梅雨明けはまだ先なのですが、カタツムリやカエルの他に、クワガタなど梅雨時期と夏の生き物の良いとこ取りのような季節です。登園してすぐに飼育ケースを覗き込む子ども達の真剣な表情を見ると、小さな命との出会いを楽しんでいるのだと思います。

地域全体で楽しむことができたグラウンドフェスタを終え、身も心も一回り大きくなったように感じる子ども達です。このような子ども達の成長を保護者のみなさんをはじめ、地域全体で支えていけることに感謝し、これからも子ども達の心が動く瞬間を大切に保育に努めていきます。

7月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
7日	火	七夕会 / 行事食	全園児 / 全園児
8日	水	保育参観(～10日まで)	全園児
16日	木	誕生日給食	全園児
17日	金	おとまり会(～18日まで) / 布団の手入れ	とき組 / 全園児
20日	月	海の日	
21日	火	個別懇談会(～24日まで)	全園児保護者
23日	木	夏季言語検査(9時30分～)	とき組
31日	金	ファミリーデー / 布団の手入れ	全園児 / 全園児

※夏季は汗をかく量も増えたりするため、衛生面を考慮し、布団の手入れを隔週で行います。

※水害(洪水)を想定した避難訓練を行います。

※身体測定の日程につきましては、アプリ  コドモンのカレンダーよりご確認ください。

8月の主な行事予定…・11日(火)～17日(月) 夏季休暇(1号認定園児)

・12日(水)～15日(土) 希望保育

◇今年度第1回目の保育参観は、3日に分散して開催することで、よりゆったりと普段の生活に近い状況で参観できるようにと考えました。また、遊びの様子から給食の様子まで、参観していただき、一緒にこども園でのひとときを楽しんでいただけたらと思います。

◇7月31日にはファミリーデーとして、子ども達が楽しみながら制作したプレゼントを持ち帰ります。プレゼントをお子さんと一緒に手に取り、会話やスキンシップを通して子ども達をはじめ、ご家族のみなさんも心満たされる時間となりますように。

育児相談会

7月10日(金)
15時～16時

ご相談の他に、お子さんにおすすめの絵本も紹介します。ぜひお気軽にご参加ください。



保育園留学園児の紹介

6月は3名の留学園児が羽茂こども園にきました。日を追うごとに少しずつ子ども達同士の距離も縮まり、安心して生活する留学園児の姿が見られますが、それは、羽茂こども園の子ども達が保育園留学で訪れる人たちに慣れたこともあると思います。一緒に遊ぶ中で自然と関わり合うようになっていくのは、子ども達の持つ大きな力ですね。



- ・7月13日～7月17日
3歳児1名
- ・7月21日～7月24日
5歳児1名
4歳児1名
- ・7月27日～7月31日
5歳児2名(双子)

環境整備作業 ありがとうございました！



6月6日(土)にとき組・きじ組の保護者の皆さまの参加のもと、保護者会による今年度第1回目の環境整備作業が行われました。主に園庭、中庭に生えている草をきれいに刈り取っていただき、あっという間に見違えるほど綺麗になりました。虫探しの他に、草花を使ったまご遊びなど一人ひとりがやりたい遊びが見つけやすくなっていると感じます。

お忙しい中、環境整備にご協力いただき心より感謝申し上げます。本部役員の皆さまを始め、ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

羽茂まつり

6月15日(月)に開催された羽茂まつりに、とき組・かわせみ組の子ども達が参加し、踊り「ヤーレン!ソーラン・ロック」を元気に踊りました。朝は雨が降り心配しましたが、会場に向かう頃には、町全体を祝うように晴れ模様となりました。大勢のみなさんの前で楽しそうに踊る子ども達の姿は、踊る自分達だけでなく、見ている周りの人まで元気になりますね。羽茂小学校のお神輿やおけさ柿音頭、羽茂の伝統つぶろさしなど、子どもから大人まで誰もが祭りを楽しんでいるのを感じました。この羽茂の伝統が結ぶ人のつながりをこれからも大切にしていきたいと強く思います。



羽茂まつり当日、踊り終わった子ども達は、その後の出番のみなさんを間近で鑑賞。昨年も小学生が教えに来てくれて親しんできたおけさ柿音頭は、思わず立って体が動き出す子もいました。その後、つぶろさしや鬼剣舞など、迫力のある地域の伝統芸能をじっと見る子も。そしてその子達は、園に戻った後に、自分達が見たものを表現する姿もありました。今回のお祭りのように地域とつながることから生まれる遊びや学びは子ども達にとって貴重な経験となるはずです。メディアであられる現代だからこそ、地域の伝統を全身で感じ、自らの糧としていてほしいと思います。

裏面に、園長「はもちのほいく」があります。こちらも合わせてご覧ください。



「はもちのほいく」 No.3

令和8年6月30日
園長 石木 むつみ

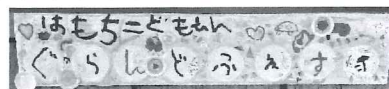
今月の1枚 「つばめの誕生」

つばめの巣からピーピーとひなごりの声が聞こえてきます。顔が見えると「かわいい〜!」「あかちゃんだ!」と興味津々です。親鳥が餌をやる様子などじっくり観察する子ども達でした。

窓際に置かれている絵本「ペランダのつばめ」を見ながら、つばめのひなを観察するAさん。絵本の中の世界と現実がつながる時間なのかもしれません。

梅雨の便りが届いたものの、今年の佐渡地方は雨の日が少なく、子どもたちは戸外遊びを十分に楽しんでいます。園庭では、グランドフェスタに向けてリレーで競い合ったり、中庭では水や草花を使って、ジュースやさんが始まったり。また、この時期ならではの生命の誕生に心を動かす姿も見られます。

太陽の光をたくさん浴び、自然を自分のものにして遊ぶ子どもたちです。



地域の中で育つ子ども達

6月27日、地域とのつながりがより深まるようにとの願いを込め、羽茂に馴染みの深いグランドフェスタの名前をお借りして開催した「羽茂こども園グランドフェスタ」。

大勢の保護者やご家族のみなさん、地域のみなさんにお越しいただき、盛大に開催することができました。

全員参加型のグランドフェスタに、ご来場のみなさんからたくさんの競技にご参加いただいたことを、とても嬉しく思っています。

私は本部席から声援を送っていましたが、参加する子ども達、保護者・ご家族のみなさん、そして地域のみなさんの“笑顔”と“活気”がとても印象深く、数日たった今でもいろいろな場面がよみがえってきます。大人でも子どもでも、その人の真剣な姿や心から楽しむ姿は、見ている人の心を揺さぶるものだ改めて感じました。

き組応援団にも熱が入ります! 来年の自分たちの姿に重ね合わせているのでしょうか。

グランドフェスタ当日は大好きなおうちの方や地域の方と楽しむ姿が印象的だった子ども達ですが、実は当日まで、たくさんのドラマがありました。

それは4、5歳児のバトンリレーでの場面です。

子ども達が相談してチームを決め、何度も勝負するのですが、負けてしまうことが多い赤チーム。そのたび悔しくて涙する人、負けてしまうことをチームの誰かのせいだと責める人、その人をなだめる人。責められて泣いてしまう人、責められた人を励ます人。自分の思いを隠さずぶつけ合う飾らない子ども達の姿がありました。一人ひとりの気持ちが痛いほど伝わってきます。私たち保育者はそばで見守りながら、それぞれの思いを受け止めてきました。

グランドフェスタ前日。本番前の最後の勝負です。「よーい、ピッ!」の笛の合図で、スタート。かなりの接戦でしたが、長い時間かけて作戦会議を練っていた赤チームが勝利! 抱き合って喜び子ども達の姿がありました。勝てない理由は誰かのせいと責めていた人もそれをなだめた人も抱き合い、今までのわだかまりが消えていくその瞬間、見ていた私たちの心も動きました。



勝ちたい気持ちを前面に出して、あきらめず走る姿は見ていて人の涙を誘いました。

そして当日。多くの地域の皆さんに見守られながら、最後の「バトンリレー」が始まりました。始まってみると抜きつ抜かれつつの大接戦となり、応援にも力が入ります。中盤、赤チームの走者がものすごいスピードで追い上げる時の会場の大声援。まさに会場が一体となった瞬間だったと振り返って感じています。

結果は白チームの勝ち。勝って喜ぶ人たちの傍にいた負けた赤チームの姿は、今までの練習での勝負の時とは、明らかに違うものでした。とても清々しい顔をしているのです。自分自身に、また同じチームの友だちに「やりきった」「がんばった」とでも言いたそうな、この結果に満足している顔をしています。



1位を確信し、満面の笑顔でゴールテープを切る白チームアンカー。

それはなぜなのか。もちろん自分がやり切った満足感も大きいと思います。それに加え、最後のバトンリレーまで、いろいろな競技に取り組む中で、心を開放しながら体を動かす楽しさを感じたり、地域のみなさんの愛情をまさに体で感じたりしたこと、大きな声援を送っていただいたことで、子ども達の心が十分に満たされたのではないかなと思うのです。

“自分は愛されている”と感じている子どもは強くたくましいです。そしてしなやかに生きていきます。今回のグランドフェスタは、子ども達にとって、保護者・ご家族のみなさん、そして、地域のみなさんに愛され大切にされていることを実感することができた時間だったと思うのです。

子どもたちのこれからの育ちに大きな価値がある「羽茂こども園グランドフェスタ」となったと感じています。

最後になりましたが、“地域とのつながりを大切にしたい”“子どもを真ん中に地域全体で子ども達を見守っていききたい”という今回の開催趣旨をご理解いただき、ご参加いただいたみなさまに心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

白熱の競技 フレイバック!



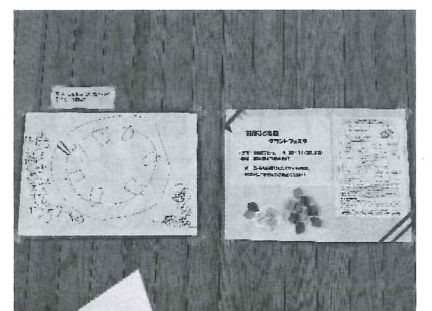
翌月曜日。
送迎に来園する保護者のみなさんの会話も弾みました。「楽しかったです!」と話すお母さん。「いや〜、つなひきはきつかった〜。3回戦目やっていったら白旗あげようかと思ってたわ!」と笑いながら話すお父さん。全員参加型だからその声がたくさん聴かれ、嬉しく思いました。

グランドフェスタを終えて...

遊戯室でグランドフェスタの「デカパン・タオル競争」を思い出し、つばめ組の子ども達もチャレンジ!



「引っ張ってあげるよ!」とき組の友だち。年齢を超えて自然と関わる姿がありました。



南佐渡中学校に子ども達が届けたポスターを体育館に掲示していただきました。羽茂小学校ではホームページに掲載していただくなど、多くの皆さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。